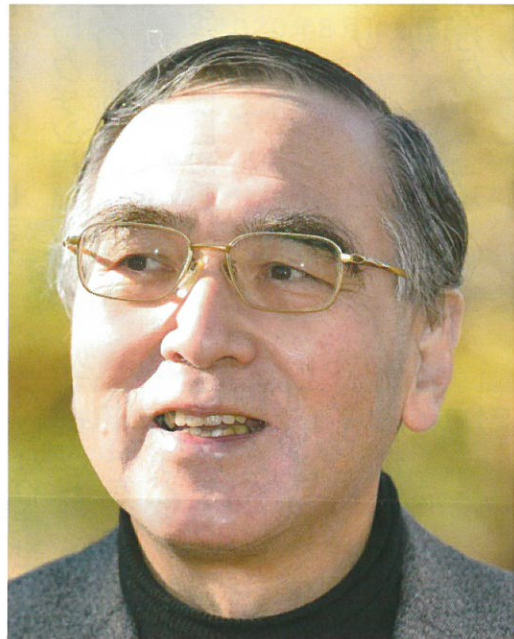




鎌ケ谷の未来を考える



まさお
ふじしろ政夫

Change鎌ケ谷！Yes鎌ケ谷！

藤代さんは鎌ケ谷で市民活動に力を入れ、市議・県議十六年の経験もあり、鎌ケ谷を知り尽くしていらっしやいます。まず、鎌ケ谷の魅力は何でしょうか？



【ふじしろ政夫】鎌ケ谷の魅力の第一は、鎌ケ谷市民の街への思いです。各地域のコミュニティは住民参加で街づくりの基礎を形作っています。人口十

万人、二十平方キロメートルの面積は、「コンパクトシティとしての住みやすい街づくり」の可能性を大きく含んでいます。

朝、ウグイスの鳴き声と共に目を覚ます身近な緑の林、北総台地に位置する安定的な地形といった豊かな自然があります。成

田空港へ三十五分、都心へ三十五分と複数の路線の交差点といたった地の利は、生活する上で大きな魅力です。日ハムフアイターズの鎌ケ谷球



場は、プロ野球の楽しさを提供してくれそうです。おいしい「梨」「イチゴ」「ぶどう」などの果実を農家から直接購入でき、食することができますのも嬉しいことです。国指定史跡である小金中野牧捕込・野馬土手、鎌ケ谷大仏、佐津間城跡、縄文時代の遺跡と鎌が原の歴史に魅力を感じます。



【みやかわ伸】新しい鎌ケ谷を作る時が来ました。鎌ケ谷の良さをしっかり残しながら、ポストコロナ社会に向けて、変えるべきところをきちんと変えていく必要があります。実績と経験、そして強い責任感のリーダーが求められます。



しん
みやかわ伸 衆議院議員

命を最優先にしたコロナ対策を



【みやかわ伸】コロナ対策について聞かせてください

菅総理はコロナ対策において、国家の危機を救うために「ワクチンが切り札」と発言されています。私もそう思います。政府は七月末までに高齢者のワクチン接種を終わらせると目標を立て、自治体に協力を求めています。予約の受け付けや、会場の準備を自治体にお願ひしています。鎌ヶ谷の場合には鎌ヶ谷市がとても重要な役割を担っているのです。市の職員の方々は大変ご苦労されています。

鎌ヶ谷市はワクチン接種の開始当初、かなりの混乱があったと聞いています。何が問題だったのでしょうか。また、既に改善したのでしょうか。



【ふじしろ政夫】鎌ヶ谷

市は当初、三万人ほどの六十五歳以上の方々全員に対して、ひとつのコールセンターやインターネットでの予約を開始してしまったのです。一日数百ほどしかない予約の枠に数万人が殺到したのです。これでは百回電話しても

つながらないのも仕方ありません。

また、鎌ヶ谷市は三週間だけの予約しかできないシステムを導入したため、一万五千回分のワクチンが入ってくるのが分かっていても、少しづつしか予約できないシステムになってしまいました。八十歳以上や七十五歳以上と年齢を区切って予約をとるなど、もっと効率の良い形にすべきでした。

やはりデジタル化にもっと力を入れるべきです。このくらいの予約はすんなりとできるようにしなければなりません。同時に、インターネットが不得意な方に対するサポートをもっと手厚くすべきです。「子どもにやってみたら」という話をよく聞きますが、お子さんが近くにいない方はどうするのでしょうか？誰一人取り残されないように、鎌ヶ谷市がサポート体制を作らなければなりません。



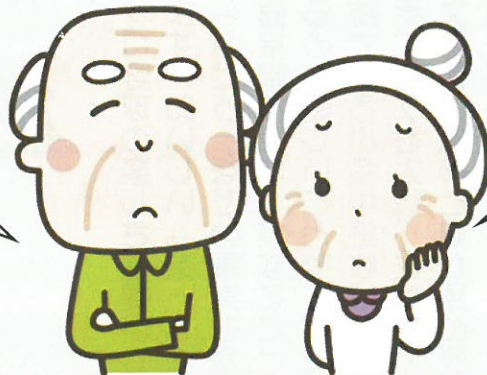
ワクチン対策チーム in 鎌ヶ谷

市長不在となり、不安の声が届いています。しっかりと鎌ヶ谷市民の皆さまに寄り添い、命と暮らしを守っていく必要があります。特に一人暮らしの高齢者で、インターネットに不慣れで予約が取れない方等のサポートが必要です。足が悪くて集団接種会場まで行けない方はないか、気に掛ける必要があります。

立憲民主党13区コロナ対策本部を昨年4月に立ち上げてから、持続化給付金の申請サポートや特別定額給付金の情報発信などに努めてきました。この度、特に鎌ヶ谷のワクチン接種に力を入れるために、「ワクチン対策チーム in 鎌ヶ谷」を立ち上げました。誰一人取り残されることのないように、一生懸命取り組みます。

お困りごと、ご不明点のある方は衆議院議員みやかわ伸事務所までご連絡ください。市議会議員とも連携して、できる限り対応して参ります。

インターネット予約はできないなあ。。。



200回電話したけどつながらないわ

習志野保健所で意見交換

1月のような医療崩壊が再び起こらないように、保健所の体制強化について意見交換を行いました(2021年4月)。2020年8月にも訪問。



保健所の所長と意見交換。みやかわ伸(奥中央)、ふじしろ政夫(奥右)

厚生労働省にPCR検査拡充の申し入れ

厚生労働省に、特に高齢者福祉施設でのPCR検査を拡充するよう申し入れました。市民団体と一緒に行った署名も提出しました。みやかわ伸(左から2番目)、ふじしろ政夫(左)。2020年8月

同様の申し入れを千葉県と鎌ヶ谷市にも行いました。



PCR検査室。新しく導入されたリアルタイムPCR。

PCR検査の拡充を求めて来ました



【みやかわ伸】感染症は

まず検査をすることから対策が始まります。しかし、鎌ヶ谷市を含め、日本はほんとうにPCR検査を行ってきませんでした。そういった中でも、例えば、印西市は六十五歳以上の高齢者全員に対して無料PCR検査を実施しました。また、船橋市の市長は、プール検査が早く実施できるように、田村厚生労働大臣に申し入れをしました。鎌ヶ谷市医師会の先生方はPCR検査カーを早期に導入して、本当に頑張ってくださいました。一方で鎌ヶ谷市の取組みが見えませんが、状況と改善策をお聞かせください。



【ふじしろ政夫】コロナ感

染症を制圧していくには「ワクチン接種(安全性を確認して)」と同時に無症状感染者をちゃんと把握し治療する「PCR検査(いつでもどこでも無料で)」を整備する必要があります。



PCR検査カー：鎌ヶ谷市医師会の先生方が真夏にPCR検査を実施しているところ。尋常でない暑さでした。

PCR検査カーなど鎌ヶ谷市医師会の先生方のご努力には頭が下がる思いですが、前市長は検査の拡充に熱心ではありませんでした。周辺市では国の補助事業を活用して六十五歳以上または基礎疾患のある方の希望者に対してPCR検査を実施しています。しかし鎌ヶ谷市は補助制度があるのにこれに十分に使わず、高齢者施設に入所している六十五歳以上の方への検査しかやろうとしません。

高齢者施設や障がい者福祉施設の入所者ならびに従事者全員へのそしてエッセンシャルワーカーへのPCR検査の実施が必要です。いつでもどこでも無料で検査できる体制を作っていくことが喫緊の課題です。



【みやかわ伸】私は政治の重要な役割の一つは「誰一人取り残されない街」を作っていくことだと思います。一人暮らしの高齢者がワクチンの予約が取れないという話を聞きます。私の事務所でもサポートをしています。

先の国会では、七十五歳以上の高齢者の病院の窓口負担を一部から二割に上げる法律が、自民党や日本維新の会の強行採決で成立してしまいました。酷い話で、高齢者が病院に行かなくなることを見込んでいるのだそうです。日本は格差が広がり過ぎています。しっかりと政治が福祉の充実に力を入れるべきだと思います。



【ふじしろ政夫】政治は最も弱い人の立場、観点、視点から施策を実施するものと考えます。病気になったとき、介護が必要になったとき、障がいを持ったとき、雇い止め等で収入がない、住居がなくなったりしたとき…：自分のお金で対応しなさいというのが自己責任（自助）の社会。今の日本は自助が強調され過ぎていきます。

私達は困っている人の悲しみや苦しみを分かち合い「公」が責任を持ってお互いに支え合う社会を作っていく必要があります。

鎌ヶ谷を見てみると、「子どもが引きこもってしまったが、相談できる場所がない」「コロナで生活が厳しいが、どこに相談したらよいかわからない」などの声を聞きます。鎌ヶ谷市役所も頑張っていますが、更なる充実が必要です。生活していく上で必要な医療、看護、介護、福祉、教育、居住、食といった、社会的共通資本を公助を中心に整備していく「分かち合いの社会」を作っていくのが政治です。

経済政策などは次号

現場主義と実行力

ひとり一人によりそって



みやかわ伸
プロフィール

1970年6月29日生まれ

1986年 船橋市立習志野台中学校卒業（サッカー部）
1989年 県立千葉東高校卒業（ラグビー部）
1999年 東京工業大学卒業（理学博士、ヨット部）
1999年 Univ. of California, San Diego (U.S.A.)
2001年 Rensselaer Polytechnic Institute (U.S.A.)
2003年 東京大学医科学研究所
2005年 バイオベンチャー設立
2017年 第48回衆議院議員選挙 初当選 立憲民主党
現在の所属委員会：経済産業、原子力

趣味： 隕石コレクション、食べ歩き



ふじしろ政夫
プロフィール

1947年10月28日生まれ

1966年 安田学園高等学校卒業
1970年 慶応義塾大学法学部卒業
三井銀行入社
1972年 藤代酒店家業を継ぐ
1980年 鎌ヶ谷市へ転居
2003年 鎌ヶ谷市議会議員 初当選
2007年 鎌ヶ谷市議会議員 2期目当選
2011年 千葉県議会議員 初当選
2015年 千葉県議会議員 2期目当選

趣味： バレエ鑑賞、映画鑑賞、弓道

🍀 新型コロナウイルスなど、お困りの方はいつでもご相談ください。